

新着・お薦め図書情報

泗水図書館

巡礼 橋本 治 著
 ワイドショーで映し出される「ゴミ屋敷」。周囲の非難の的となっている家主の老人は戦後の日本を真面目に生きていた男のはずだった。しかし、家族を、道を失って孤独の果てに「ゴミ」にすがってしまふ……。男の軌跡を追った傑作長編！

目線 天野節子 著
 建設会社の社長、堂島新之助の誕生祝いに集まった家族や友人たち。華やかな宴が始まる直前、新之助が遺体となって発見される。自殺として処理され迎えた初七日に新たな犠牲者が。事件の裏に隠された家族の秘密とは。

郷土LOVE みうらじゅん 著
 イラストレーターとしてだけでなく「マイブーム」「ゆるキャラ」など多数の造語を世に送り出した著者。独自の感性で47都道府県をひとつずつ語り旅していく。『ほぼ日刊イトイ新聞』連載の他の追従を許さない爆笑県民論。

黒染めの鏡 火坂雅志 著
 武田の家に生まれるも、幼いころに落城を経験し、一人で世の中に放り出されたのちの安国寺恵瓊。仇敵毛利家に仕え外僧として手腕を振るい禅僧でありながら戦国史上、唯一大名まで上りつめた男。その数奇に満ちた一生を描いた歴史小説。

自然農薬のつくり方と使い方 農山漁村文化協会 編
 身近なものを使って簡単に作れる自然農薬で、手軽に無農薬栽培ができる！自然農薬として利用の多い植物エキス、木酢エキス、植物発酵エキス、その他無農薬資材の効果的な使い方と素材の選び方を、3人の実践家がわかりやすく紹介する。

働く幸せ 仕事でいちばん大切なこと 大山泰弘 著
 知的障がい者が社員の7割を占める日本理化学工業。チョコをつくっているこの会社、ふとしたきっかけで障がい者雇用を始めて50年。彼らに導かれてきたと語る大山会長の人生と会社の歩みを紹介した、「働く」意味を考えさせられる感動のビジネスストーリー。

夏への扉 新訳版 〇バート・A・ハインライン 著
 ぼくが飼っている猫のピートは、冬になるときまっけで夏への扉を探しはじめる。家にたくさんあるドアのどれかが夏に通じていると信じているのだ。そしてぼくもまた、ピートと同じように夏への扉を探していた。表紙も新たに新訳版で贈るハインラインの希望に満ち溢れたメッセージ。

モモのこねこ やしまたろう・やしまみつ 作
 八島太郎生誕100年記念復刊。少女はある日子猫を拾う。みずぼらしかった子猫は、一年後には世界で一番美しい猫となり、秋には5ひきの子猫の母親となる。小さな命が育つを見守りながら、一步一步成長していく少女の姿をのびやかに描いた命の喜びにみちた絵本。

中央公民館図書室

ギフト 原田マハ 著
 尊敬している上司に「12月のカレンダー」のようだとお礼、実は嫌われていたのではないかと勘違いし、落ち込んでいた。しかし、それには別の理由があった。人々が忙しさの中で見落としてしまいがちな「贈り物」を題材にした珠玉の短編集。

文学・今日は何の日 小林國雄 編
 365日、それぞれに文学にまつわる出来事がある。作家の誕生日や没日だけではなく、1月1日は元日を詠んだ短歌、1月3日はかるた始を紹介するなど、文学に関する出来事を紹介した一冊。

ティモシーとサラともりのようせい 芭蕉みどり 作・絵
 双子のこねずみのティモシーとサラは、家族で森へキャンプに出かけました。そこで、不思議な少年に出会いました。サラはきっとその少年は「もりのようせい」に違いないと思いましたが……。心温まる絵本。(打出文庫)

七城公民館図書室

植物図鑑 有川 浩 著
 冬も終わりかけのある夜、アパートの前で行き倒れていた彼を拾う事になったさやか。「咬みません。躰のできたよい子です」。わかっているのは、彼の名前だけ。週末には近くの川で道草を摘み、彼の博学と道草料理に、胃袋もこころも満たされていく。野に育つ草花に託して語られるラブストーリー。道草料理レシピも掲載。

田村はまだか 朝倉かすみ 著
 深夜3時。大雪のため、クラス会に間に合わなかった田村をスナックで待つ、40歳の男女5人。彼らの記憶に残る田村は「孤高の小学生」。久しぶりに会う彼を待つ間に交わされる思い出。そして今あるそれぞれの事情。皆が思う。田村に会えたらそれでいい。話を聞いているマスターも次第に彼を待ち、読み手も待つ。「田村はまだか」。心に染みる物語。

旭志公民館図書室

宵山万華鏡 森見登美彦 著
 祇園祭の宵山でにぎわう京都。大勢の人で盛り上がる街では、現実とあやかしの世界が入り乱れ次々に不思議な出来事が起こる。さまざまな事情を抱えて、宵山へと迷い込んでいく人々。「大切な人」を失う前に、万華鏡のようにくるくるめぐる宵山の夜をゆめくることができるのか。祇園祭宵山を舞台にした奇怪な幻想小説。

ゆうたはともだち きたやまようこ 著
 ゆうたの家で飼われているハスキー犬のじんべい。少しいばっているけどゆうたのことが大好き。じんべいの目線でユーモアたっぷり簡潔に、犬と人間の対比をしている。短い文章でテンポよくすすんでいく「ゆうたくんちのいばりいぬ」シリーズの第一弾。講談社出版文化賞絵本賞受賞作品。(打出文庫)

私の推薦 めぐろのさんま



寺井悠晃くん (迫水小現5年)

みなさんは「秋刀魚」と書いてなんと読むと思いますか？
 そうです、「さんま」ですね。
 さんまは、秋を代表する味覚のひとつであります。さんまは、ねだんも安く、今も昔も、庶民のたべものですが、昔のおさむらいは、こういうやすい魚をたべなかったんだそうです。この本によりますと「ふだん、殿さまのたべるやき魚といいますが、たいときまっております、しかも、やきたてをたべられるか、といいたすところではありませんで、お毒味役というものがおりまして、この人がやきたてのたいをひとはしたべ、そのまま2時間、じっとしていただき、なんともないとなるとそれを、殿さまにだしたんだそうで……。。」ということになっております。
 さて、その殿さまが「やきたてのさんま」をたべたい！といいたから大変です。
 殿さまは、「さんま」をたべることができるのでしょうか？

川端 誠 著



●紹介者随時募集中

「私の推薦」で、「お気に入りの本」を紹介してみませんか。自薦・他薦は問いません。詳しくは、各図書室・図書館まで。

耳より情報

としょかんまつり
11月7日(土) 午前10時から開催します。
 午前10時30分～ 劇 「おおきなかぶ」
 (ワンダーぶんこ)
 語り「きつね汁」
 (しすいっ子童話会)
 手品・秋のおはなし・他 (ラブック)
 午後2時～ ラジオパーソナリティ寿咲亜似さんの絵本ミュージアム、
 「おにがら」「ぼんさらや」
 その他、リサイクル雑誌の配布や各コーナーを用意しています。ご家族皆様さんでお越しください。(泗水図書館)

読み聞かせおはなし会のお知らせ
 読み聞かせボランティアグループきくちおはなしの森では、月2回のおはなし会を実施していましたが、図書室の移転に伴い、今後は図書室の絵本コーナーにておはなし会を実施します。絵本の読み聞かせやわらべうた、パネルシアターなど盛りだくさんな内容です。毎月第2・第4土曜日の午前10時30分からはじめます。ぜひお越しください。(菊池市中央公民館図書室)

おたのしみ会のお知らせ
 11月15日(日) 午後2時から「クリスマスの飾りを作ろう」
 (泗水図書館)

おわびと訂正

広報きくち10月号16ページの図書だよりで、としょかんまつりの日程に誤りがありました。正しくは、今月号のとおりです。おわびして訂正します。

11月の予定

	中央公民館 図書室	七城公民館 図書室	旭志公民館 図書室	泗水図書館
1日	閉室日	閉室日	閉室日	
2月				休館日
3火	閉室日	閉室日	閉室日	休館日
4水				
5木				
6金				
7土			閉室日	
8日	閉室日	閉室日	閉室日	
9月				休館日
10火				
11水				
12木				
13金				
14土	きくちおはなしの森 おはなし会 10:30～		閉室日	ボランティアの おはなし会 11:00～
15日	閉室日	閉室日	閉室日	お楽しみ会 14:00～
16月				休館日
17火				
18水				
19木				
20金				
21土			閉室日	古典を楽しむ会 14:00～
22日	閉室日	閉室日	閉室日	
23月	閉室日	閉室日	閉室日	休館日
24火				
25水				
26木				
27金				おはなしの部屋 11:00～
28土	きくちおはなしの森 おはなし会 10:30～		閉室日	ボランティアの おはなし会 11:00～
29日	閉室日	閉室日	閉室日	
30月				休館日